

2004年12月22日

各位

三井化学株式会社

タイにおける通気性フィルムの事業化について

当社(社長:中西宏幸)は、衛生材料事業の東・東南アジアでのリーダーの地位の強化を図るため、タイで紙おむつ向け不織布を製造・販売している Mitsui Hygiene Materials (Thailand) Co., Ltd. (MHM、社長:吉富文雄、三井化学100%出資)に、紙おむつ向け通気性フィルムの製造設備を新設し、日本の生産拠点に加え、タイで通気性フィルムを事業化することを決定しました。

< 事業化計画の概要 >

1. 対象製品:紙おむつ向け通気性フィルム
(紙おむつのバックシート部(別紙ご参照)に使用)
2. 会社名:Mitsui Hygiene Materials (Thailand) Co., Ltd.
3. 所在地:タイ国ラヨン県
4. 生産能力:6,000トン/年(新設)
5. スケジュール :着工 2004年12月
完工 2006年1月
商業生産開始 2006年5月

当社は中期経営計画において、機能性ポリマーズ、情報・電子材料、ヘルスケア材料からなる機能性材料分野の拡大・成長を目指しております。そのなかで、ヘルスケア材料のひとつである衛生材料の戦略は、紙おむつメーカーのアジア展開に対応して、日本および東・東南アジアに高品質の衛生材料を供給できる体制を整備し、事業の拡大を図ることです。

子供用紙おむつ市場は、日本国内は少子化の影響で漸減傾向にありますが、東・東南アジアでは07年までに20%を超える成長が見込まれています。また、快適性に対するニーズの高まりから、通気フィルムを用いた紙おむつの割合が未だ20%前後である東・東南アジアにおいても、07年度までに50%程度にまで拡大していくものと予想されています。当社は、このような状況において、東・東南アジア市場の紙おむつメーカーの増産に対応し、同地区においてコスト競争力ある拠点を確立してシェアを拡大し、事業収益を拡大するため、タイにおける事業化を決定したものです。

当社は現在、名古屋工場において年産7,500tの通気性フィルムの生産能力を有しておりますが、今回のタイでの事業化により、日本およびタイの2拠点より、東・東南アジア市場に高品質の製品を供給する体制が確立することになります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

三井化学株式会社 IR・広報室長 古賀義徳 03-6253-2100

紙おむつの主要構造

